エコアクション２１
環境経営レポート

（活動期間：2022 年 4 月 1 日　～2023 年 3 月 31 日）

2022 年度版

株式会社 電陽社

発行日：2023 年 6 月 1 日

目次

1. 代表挨拶 P3

2. 環境経営方針 P3

3. 事業の概要 P4,5

4. 環境目標（(環境経営目標・中期目標（環境経営計画)）P6,7,8

5. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無 P9

6. 代表者に寄る全体の評価見直し P10

１．代表者挨拶

電陽社は創業以来、変化をいとわず自らが進むこと、新しい世代がやりがいと充実感を持って働ける環境を社内外に生み出すこと、地域に愛され必要とされる、地域とともに歩む企業であり続けることをモットーに、歩み続けてまいりました。

今では制御機器をはじめ、情報機器・電材・計測器コンピュータなどの商品のみならず、お客様の課題にお応えするシステムをご提案する体制を整えております。

北陸地域は様々な業種がバランスよく成長したすばらしい市場です。そんな北陸の企業としての特色を生かし、これからもお客様と地域社会の繁栄に貢献してまいります。

２．環境経営方針

電陽社は、制御機器、電子機器、計測機器、情報処理機器、電力関連機器の専門商社です。良き企業市民として社会との共生に努め,地球環境保全活動への参加ならびに従業員の自主的な活動支援のためこの環境経営方針を定めます。

（１） 環境関連法規制など、当社に適用可能な法的及びその他の要求事項を順守します。

（２）環境保全活動を推進する為、次のことに取り組みます。

①電力・自動車燃費の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減

②省資源推進の為に、3R（廃棄物の抑制、再利用、ﾘｻｲｸﾙ）を徹底します

③水資源の節水

④環境配慮商品の積極的提案および販売を行います

（３）当社の環境経営方針は、継続的改善を誓約します。

（４）当社の環境経営方針は、全社員に周知し、広く一般に公開します。

株式会社電陽社

代表取締役社長　青木 宏

３．事業の概要

会社名及び代表者名

株式会社電陽社

代表取締役会長　東　達

代表取締役社長　青木　宏

所在地

本社 富山市奥井町１７番３８号

金沢支店 金沢市いなほ２丁目１１番

業務センター 富山市窪新町１１番１１号

福井営業所 福井市和田東１丁目１００１番地

ﾒｶﾄﾛﾆｸｽｾﾝﾀｰ富山市永楽町３３番３号

環境管理責任者及び担当者連絡先

責任者　：石葉　忠司

担当者　：村椿　新一

連絡先　：TEL 076-432-7588　　FAX 076-432-7793

事業活動

制御機器、電子機材機器の販売及びこれらに関連する制御装置の設計・製造

対象事業所

本社、金沢支店、福井営業所、業務センター、メカトロニクスセンター

（旧ワイディシステム　本社、金沢営業所、福井営業所）

事業の規模

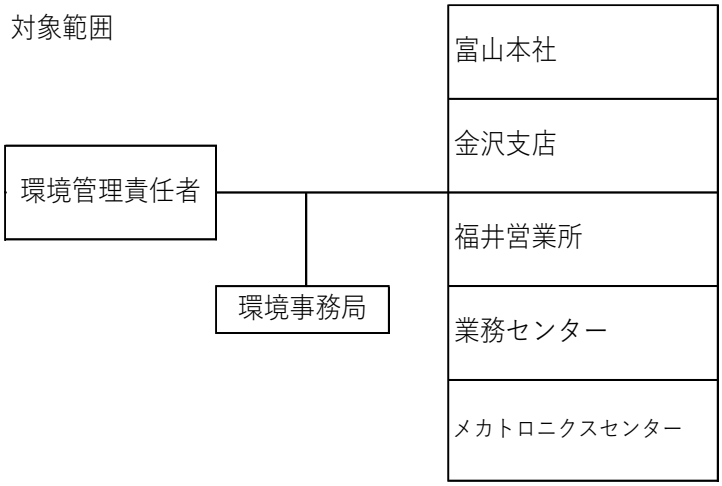
設立：１９５６年４月５日

資本金：４０００万円

＊㈱電陽社とワイディシステム㈱は、2023 年 4 月 1 日に合併しました

ワイディシステム㈱が所属していたサイトの変更はございません

対象範囲



役割・責任・権限

責任	役割・責任・権限
代表取締役会長（東　達） 代表取締役社長（青木宏）	・環境経営に関する総責任者 ・環境方針の作成・環境管理者の任命 ・EA21 の全体的な取り組み状況を評価し、見直し、必要な指示を行う ・環境保全に関する経営資源の提供
環境管理責任者	・環境経営システムの構築・運用 ・環境活動レポートの承認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境計画の提言と進捗管理
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境活動レポートの作成、公開
社員	・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り積極的に環境活動へ参加する ・自部門における環境活動計画の実施 ・自部門の特定された記録の作成 ・自部門の必要とされる手順書の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施

4.環境目標

項目		2021年度実績	2022年度目標 2022年4月～2023年3月	2022年度実績 2022年4月～2023年3月	目標達成率	評価
温室効果ガス排出量の削減	二酸化炭素（Kg-CO2）	416712 Kg-CO2	412545 Kg-CO2 1%削減	392439 Kg-CO2	105%	○
電力量の削減	購入電力（ｋｗｈ）	412937kWh	408808kWh 1%削減	379722kWh	108%	○
社用車燃費の削減	社用車の燃費（km/L）	14.24km/L	14.38km/L 1%削減	14.3KM/L	99%	×
水使用量の削減	上水（㎥）	1443 ㎥	1429 ㎥ 1%削減	1252 ㎥	114%	○
廃棄物等総廃棄量の削減	一般廃棄物	12.1ｔ	12.0ｔ 1%削減	12.6ｔ	95%	×
	産業廃棄物	3.8ｔ	3.8ｔ 1%削減	1.7ｔ	224%	○
エコ商品の拡販	販売台数 DYS	203台	209台	243台	116%	○
	販売台数 YDS	4894台	5041台	4381台	87%	×

※電力の二酸化炭素排出係数は北陸電力の調整後 0.484 で計算しています
（別途、2021年度環境活動計画を添付）

※一般廃棄物と産業廃棄物の集計方法の見直しを実施

一般廃棄物：可燃ごみ、ダンボール、新聞、雑誌、上質紙、ペットボトル

産業廃棄物：廃プラスチック類、金属屑、廃電気機械器具

環境活動計画の内容及び取組

社用車の燃費	
１．ふんわりアクセル	○・・・継続
２．加減速の少ない運転	○・・・継続
３．早めのアクセルオフ	○・・・継続
４．エアコンの使用を控えめに	△・・・無理は禁物
５．アイドリングストップ	○・・・継続
６．暖機運転は適切に	△・・・長時間は禁止
７．道路交通情報の活用	△・・・意識不足
８．タイヤの空気圧をこまめにチェック	○・・・自主点検実施
９．不要な荷物は積まずに走行	○・・・継続
１０．　駐車場所に注意	○・・・継続

電力水使用量	
１）蛍光灯	
・無人の場所の LED を消す。（フロア内、廊下、トイレ、等）	△・・・過剰あり
・LED が切れている場合は、速やかに交換する。	○・・・継続
２）エアコン	
・無人の部屋のエアコンを消す。	○・・・継続
・設定温度は冷房２７度以上、暖房時２３度以下とする。	△・・・無理は禁物
・急激な電気使用を防ぐため、朝、一度に全部のエアコンの電源を入れない。	○・継続
・定期的にエアフィルターの掃除をする。	○・・・3ヵ月毎
３）パソコン	
・長時間使用していないパソコン/モニターの電源をＯＦＦにする。	△・・・一部不適
・外出時はパソコン/モニターの電源を切る。	△・・・一部不適
・使用していないプリンターの電源をＯＦＦにする（待機状態でも可。長期間使用しない場合は電源 OFF。）	△・・・一部不適
４）ＯＡ・設備機器	
・使用しないときは、シュレッダーの電源を OFF にする（待機状態でも可）。	○・継続
・不要時、電気ポットの電源をＯＦＦにする。	○・・・継続
・電子レンジなど使わない機器のコンセントをＯＦＦにする。	△・・・一部不適
５）換気扇	
・使用されていない場所の換気扇の電源を OFF にする。	△・・・24H 換気外
６）エレベーター	
・健康の為にエレベーターの利用を控え、階段を使用する。	△・・・一部不適
７）水道水	
・台所及びトイレの節水行動	○・・・継続
廃棄物の削減及び再利用の促進	
・フォーキャスト管理の徹底	○・・・継続
・市場動向の把握	△・・・意識不足
・在庫保管管理の徹底	△・・・過剰気味
・カタログのリサイクル	○・・・継続
・ダンボール箱／緩衝材再利用	○・・・継続
・コピー用紙／封筒の再利用	○・・・継続
省エネ・省電力・環境配慮型商品の提案／販売	○・・・継続

＜評価＞○は継続、△は変更可能な場合は実施。但し、健康に影響を及ぼす様であれば無理は禁物。

＊2023 年度の環境境活動計画の内容及び取組については継続する。

環境目標・中期目標(環境経営計画)

2023年度

確 認	作 成
石葉	委員会

作成日　2023年6月1日

目的	責任者	2023年度目標	2024年度目標	2025年度目標	スケジュール(月) 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3
温室効果ガス排出量の削減 460674kg(2020年度) 416712kg(2021年度)	青山尚	2022年度実績1%削減 (実績392439Kg) 目標388515Kg—CO2	2023年度実績1%削減	2024年度実績1%削減	実態調査・進め方の検討・手順書の作 見直し 実施・データ取り
電力量の削減 458560kWh(2020年度) 412937kWh(2021年度)	青山尚	2022年度実績1%削減 (実績379722kwh) 目標375924kWh	2023年度実績1%削減	2024年度実績1%削減	実態調査・進め方の検討・手順書の作 見直し 実施・データ取り
社用車燃費の削減 14.16km/L(2020年度) 14.24km/L(2021年度)	村椿	2022年度実績1%削減 (実績14.3km/L) 目標14.44km/L	2023年度実績1%削減	2024年度実績1%削減	実態調査・進め方の検討・手順書の作 見直し 実施・データ取り
水使用量の削減 1651㎥(2020年度) 1443㎥(2021年度)	青山尚	2022年度実績1%削減 (実績1252㎥) 目標1239㎥	2023年度実績1%削減	2024年度実績1%削減	実態調査・進め方の検討・手順書の作 見直し 実施・データ取り
廃棄物等総廃棄量の削減 一般15.2t産廃9.9t(2020年度) 一般12.1t産廃3.8t(2021年度)	西野	2022年度実績1%削減 (実績一般12.6t/産業1.7t) 目標一般12.5t　産業1.7t	2023年度実績1%削減	2024年度実績1%削減	実態調査・進め方の検討・手順書の作 見直し 実施・データ取り
エコ商品の拡販 DYS340台YDS3233台(2020年度)DYS203台YDS4894台(2021年度)	金谷原	2022年度販売台数3%UP (実績DYS243台/YDS4381台) 目標DYS250台/YDS4512台	2023年度販売台数3%UP	2024年度販売台数3%UP	実態調査・進め方の検討・手順書の作 見直し 実施・データ取り

5.環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規制の遵守状況

適用環境法規	遵守評価
地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法)	遵守しております
フロン排出抑制法	遵守しております
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	遵守しております
国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)	遵守しております
消防法	遵守しております
家電リサイクル法	遵守しております
使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律	遵守しております

環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2023 年 3 月の環境関連法規遵守状況の確認において環境関連法規への違法はありません。

また、関係当局よりの違反などの指摘は過去 3 年間ありません。

外部からの環境に関する苦情や、要望はありませんでした。

照合先

環境関連法　：　環境省 HP のデータベース　http://www.env.go.jp/index.html

6.【代表者に寄る全体の評価見直し】

代表者による評価・見直しの記録			承認	作 成
見直し実施者	代表取締役　東 達		東	石葉
見直し実施日	2023年5月31日			

確 認・評 価 した 資 料			
文　書	確 認	記　録	確 認
環境方針	✓	環境への負荷の自己チェック	✓
環境目標	✓	環境への取組の自己チェック	✓
環境活動計画	✓	環境関連法規制等の順守状況確認	✓
環境関連法規等のまとめ	✓	外部からの苦情・情報の記録	✓
実施体制	✓	環境上の緊急事態の訓練記録	✓
緊急事態対応手順	✓	環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況と結果	✓
環境経営レポート	✓	不適合是正・予防処置報告書	✓

取組状況全体の評価		
システムが有効に運用されているか（要求事項を満足しているか）	(適)	不適
取組が適切に行われているか	(適)	不適

見直しの必要性					
環境方針	あり	(なし)	実施体制	あり	(なし)
環境目標	あり	(なし)	その他	あり	(なし)
環境活動計画	あり	(なし)			

総括

2022年度も継続してコロナの影響を受けたことで、活動が難しい一年となりました。

又、下期以降は合併に関する作業が増え、事務局を含め会社全体が取組に対する優先度合いが低くなった様に感じます。

2023年度からは新電陽社として新たなスタートを切りますので、今迄以上に環境に配慮した取組をお願いしたいと思います。

冬期は幸い雪の量が少なく、安全運転やｶﾞﾘﾝの消費には良い影響を与えたと思います。

今後、当社としては新事業推進を掲げ、特にｶｰﾎﾞﾝﾆｭｰﾄﾗﾙの取組に投資していきます。

今迄の事業を活かしながら事業の幅を拡大して頂きたいと思います。